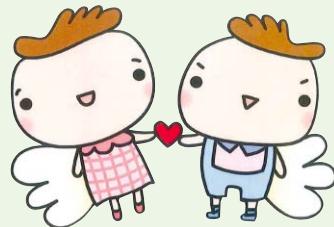




てとて。

tetote



デイサービスセンターきたで～より

お地蔵様に手作り前掛け

お世話になっている
皆さんへの恩返しとして

支援を必要とする人をつながりあって支えましょう

MY・まいボランティア

福祉教育の取り組み

サロンは地域の福祉力アップの源

平成23年度事業報告

赤い羽根共同募金のお願い

支援を必要とする人を

つながりあつて支えましょう

現在の日本は、食生活の改善や医療の進歩などにより、世界有数の長寿国となりました。今後は2025年に団塊の世代が75歳以上となりさらに高齢化が進みます。

また、米原市において2035年には約3割が65歳以上の高齢者になると推測されています。長寿であることは、大変喜ばしいことである一方、高齢になると介護が必要とされる方の割合も高まります。

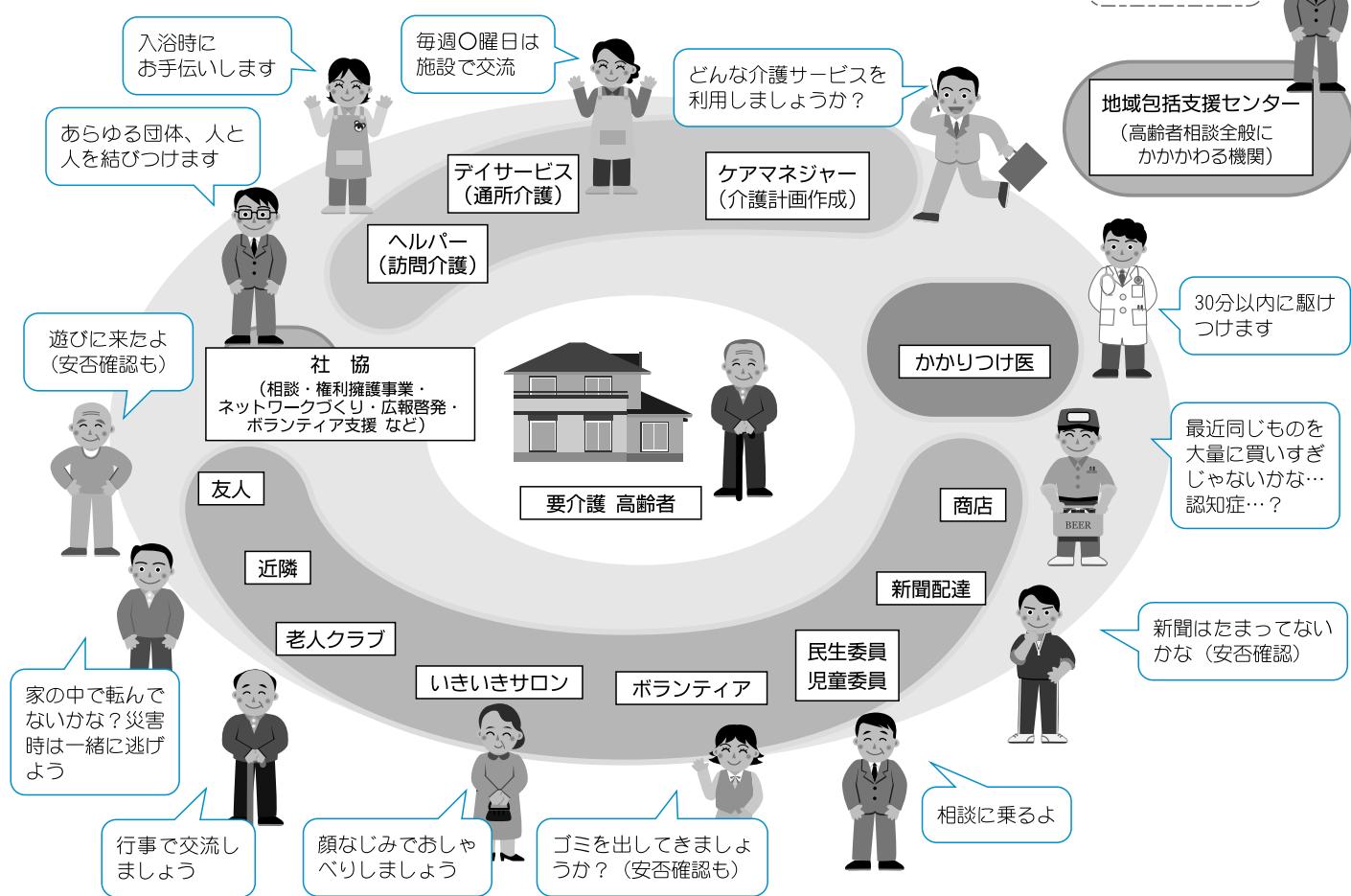
超高齢社会において「住み慣れた地域で安心して暮らし続けたい」という願いを実現させていくためには、柔軟な介護サービスの充実とともに、かかりつけ医がすぐに駆けつけてくれるなど、身近な地域内での医療体制の充実も求められます。そして、この介護と医療がしっかりとつながりあって一人を支えていくことも大切なポイントとなってきます。

では介護と医療といった部分だけは充実すれば、住み慣れた地域で安心して暮らしていけるでしょうか。やはりサービスや制度の他にも仲の良い友人やご近所さんとのふれあい・交流も持ち続けられて初めて孤立感を感じずに安心して暮らしていくと思います。また、日頃の安否確認や、認知症の早期発見、体調不良時などの緊急対応災害時の対応等ご近所同士だからこそできることがあります。

こうした住民同士による支え合い活動も、介護・医療とつながり合いながら取り組みを進めることが望ましいといえます。同じ一人の人を支援するために、支援する者が皆で協力しながら関わった方が良いのは明らかです。

今後も米原市社会福祉協議会ではこうした点を強く意識しながら、安心して暮らせるまちづくり活動を住民の皆さんとともに進めたいと考えています。

※今回のケース
は一例です。



「みんなで一緒に支えましょう！」



MY・まい ボランティア

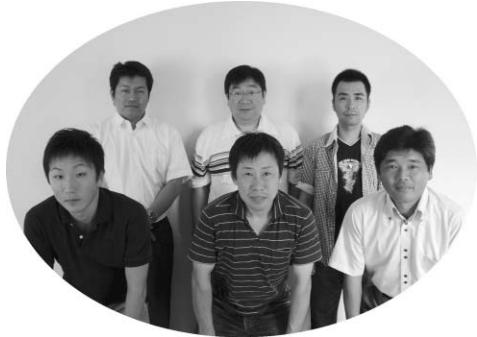


びわこクリーン活動

企業のボランティア活動

三菱樹脂山東労働組合のみなさん

なにか自分たちでやることがあればしていきたい・・・今回はそんな思いでボランティア活動されている三菱樹脂山東労働組合さんにインタビューしてきました。



今まどんな活動をされていましたか？

三菱樹脂株山東工場は、昭和53年の建設当時から、地域への恩返しの気持ちを込めて、募金活動などを続けており、社会貢献活動へ高い意識を持つています。

労働組合としても、びわこクリーン活動や長浜曳山祭での山鉾曳きなどにも参加しています。昨年度は、東日本大震災がおき、「同じ日本人としてなにかしたい」という思いで、義援金や救援物資の送付などにも、いち早く取り組み、組合員で現地ボランティアにも参加しました。現地での活動を通じて、被災の甚大さを痛感し、息の長い支援が必要なこととの恵みわしい教訓を忘れてはいけないと感じました。

しかし、距離的にもなかなか何回も行けないので、「地元にいながらできることを」「この思いで、東日本大震災に限らず風水害など災害時支援活動に役立ててもうれるよう組合員の理解を得て、社会貢献活動基金を設立しました。



祭での山鉾曳き

企業のなかでボランティア活動は、どのような位置づけがされていますか？

通勤のほとんどは自動車で地域の道路を活用させていただいていますし、地域あつらい企業であるとの考え方があります。

ボランティア休暇制度もあり、社内報等でボランティア活動紹介をおこない、社会貢献にむけた理解と後ろ盾があります。

東日本大震災での活動以降は特に企業内においてボランティア活動への興味や理解も深まつたと思います。

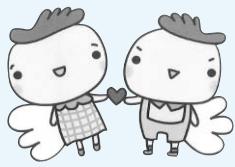
●活動して感じじる「ひと

(かうがい・今後につづくこと)

歴史やしきたりにふれ、地域の人と「ミニユニークーション」がどれることで、自分自身の勉強にもなります。

また、知り合いが増え、いろんな輪が広がっていくことは、地域で仕事をするうえで役に立つと感じています。

今後は企業がある米原で、より地域に根差した活動をしていきたいと考えています。先日は米原のホタル祭りへボランティアとして参加しました。自分たち独自の活動ではなく、地域の活動とリンクした取り組みをし、地域貢献をしていきたいと考えています。



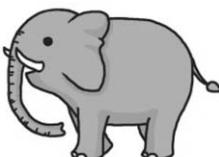
東日本大震災での活動

米原市傾聴ボランティア
『よみこび愛』ボランティアグループ誕生!

講座から飛び入り!

相手の心に耳を傾け話を聞く

傾聴ボランティア活動始まりました



平成二十三年度の講座「心で聴く・ほつと・もつとミニユニークーション」受講後、地域での傾聴ボランティア活動を希望してくださいました皆さんと、今後の活動について話し合いの場をもちました。

「実践あるのみ!」という先生の言葉もあり、7月に市内の福祉施設にて活動をしました。活動後、「いっぱい話をしてもりっこつちが勉強になった」「盛り上がり、あつという間に時間がたつてもたわ」など、様々な感想や意見が交されました。



『社協まいばら てとて』 広告募集!!

米原市社会福祉協議会では、広報誌「社協まいばら てとて」への広告を募集しています。

- ★ 1枚サイズ（縦45mm×横87mm）掲載料（1回あたり）6,000円 通年掲載割引有ります。
- ★ 1回あたり13,000部発行（年間4回発行）
- ★ 詳細については、本部（TEL 0749-54-3105）までお問い合わせください。

自分たちにできること

～各小学校での総合学習の取り組み～
市内の学校では福祉教育の一環として、当事者の方からお話を聞いたり、体験するなどによって自分たちにできることはなにか、みんなで考えました。

ボランティアとは何か、地域の支え合いとは何か 春照小学校6年生



音訳ボランティア活動の様子

地域内で活動するボランティアとともに活動を体験することで、ボランティアとは何か、地域の支え合いとは何か学ぶことを目的に開催しました。まず地域で活動されている6つのボランティアグループの話を聞き、しろいと思った活動を選び、その後2回一緒に活動しました。活動後の感想では、「ボランティア楽しかった、またしたい」「喜んだ顔を見て、それで私もうれしくなった」など、ボランティア活動の楽しきななどが感じた様子でした。これから、「またしてみたい」という心を応援していきたいと思います。

バリアフリーな社会を目指して 大原小学校5年生親子活動



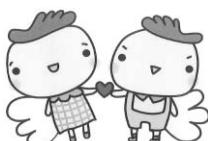
シッティングバーの様子

PTA親子活動でNPO法人だんない美濃部さん市川さんによる講話と、車いす体験、シッティングバーを行いました。バリアフリーな社会を目指して・・・PTA親子活動でNPO法人だんない美濃部さん市川さんによる講話と、車いす体験、シッティングバーを行いました。美濃部さんたちの「障がいがあつても、相手の立場に立つて、少しでも考えて行動することが、明るい社会にながっていく」という話を、みんな真剣に聞いていました。

その後、障がいがあつてもなくとも、みんなで楽しめるスポーツということで、シッティングバーで対戦しました。感想では、「一人一人が気づくことでみんなが生活しやすい社会になると思った」など、考えることの大切さを感じられました。

車いす体験を通して温かい接し方を学ぶ 醒井小学校5年生

米原市社協ボランティアセンターでは、学校などのボランティア体験や福祉教育の推進をしていきます。（55-3933）



校舎での車いす体験の様子

車いす体験を通して、相手の気持ちを知り、温かい接し方を学ぶとともに、建物のバリアフリーに気づくことを目的に体験をしました。車いすの使い方を、同じ学年で車いす利用者のA君から学び、実際に校舎を回ってみました。「ちよつとの段差も大変だった。A君は、いつも乗つているからすごい！」「困つていたら助けてあげようと思った」など、普段の生活では気づかない段差や人の温かさを感じたようでした。



今年もやります！ サロンボランティアのつどい

日時：平成24年9月28日(金)
13:30～16:00
場所：米原地域福祉センターゆめホール
内容：ワークショップ等
※また詳しくご案内致します。



こっちのお漬物とてー、
気楽な関係にホッとしてます。



地域の子どもは
地域の宝！



風船バレーで
自然に体が動きます。



昔懐かしのカルタ。
身をのりだして真剣勝負！



サロンに歩いて
来にくい人には車で送迎も。



みんなで食べる
やっぱりこれが楽しい。



恒例の誕生日会は
参加者みんなのお楽しみ！



魚を追って、普段は使わない
筋肉も使います。

サロンは地域の福祉力アップの源です。

「サロンから広がるつながりをもとめて、

ふれあいいきいきサロンとは？

ふれあいいきいきサロンは、歩いていける範囲で、気軽に参加できる地域住民のふれあいやつながりの場づくりの活動です。

人ととのつながりが希薄化してきた現代において、サロンなどによるふれあい交流活動は大変貴重なものとなってきています。例えば、サロンに来られない人にも、サロンボランティアがお漬物やお菓子を持って訪問する。そんなサロンから広がる見守り活動も多くあります。今後も、社会福祉協議会はサロンの継続や活性化のための支援を行い、誰もが安心して暮らせるまちづくりをめざします。



お年寄りにやさしい
献立を。



「サロンが高齢者の見守り
につながります」
(サロンボランティア)



どちらが指を捕まえられるかな?
顔みしり同士で笑顔もこぼれます。



たまには劇団の人をよんで、
劇に参加?!これもいいよね!



工作も指の運動に！



完成作品です。

平成23年度 事業報告

I 会務

1. 評議員会（開催4回）
2. 理事会（開催10回）
3. 監事会（開催1回）
4. 総務地域福祉委員会（開催3回）
在宅生活支援委員会（開催2回）
5. 米原市社会福祉協議会あり方検討委員会（開催4回）
6. 苦情相談委員会（開催2回）

II 事業活動

1 施設管理

伊吹健康プラザ愛らんど
北部デイサービスセンター（きたで～）
米原地域福祉センターゆめホール
西部デイサービスセンターきらめき
ボランティアセンター三島荘
柏原福祉交流センター

2 総合相談

常時相談（280件）

3 地域福祉権利擁護事業

福祉サービスの利用の援助や日常の金銭管理の支援、書類などの預かり
相談件数（1,185件） 契約数（H24.3月末 33件）

4 生活福祉資金貸付事業・一時援護資金貸付事業

生活福祉資金貸付（9件）
一時援護資金貸付（51件）

5 成年後見サポート事業

成年後見制度の理解と周知の講座開催（参加者45名）

6 小地域福祉活動の支援

福祉会や福祉委員会、サロンの支援（109回）、備品貸出（貸出数463件）等

7 ボランティア活動支援・講座の開催

ボランティアの活動を広報等で広く周知
「ボランティア依頼・調整シート」を活用
ボランティア講座や東日本大震災復興支援活動



福祉教育・車椅子体験の様子

8 福祉教育活動

車椅子体験、アイマスク体験等の実施
各校との情報交換会の実施や「企画・振り返りシート」の活用

9 人材育成活動（各事業、事業所での実習生の受け入れ）

職場体験や実習生に対し必要な知識や技術指導や体験の場を提供

10 地域福祉活動計画推進体制

平成21年度に住民の声をもとに策定された米原市地域福祉活動計画（基本計画編）を実現していくために、基本目標に応じた小委員会（3つ）およびそれを総合的にまとめる委員会の体制をつくり、計画に基づき具体的活動の検討を重ね、米原市地域福祉活動計画（基本計画推進編）を策定。

11 地域福祉活動推進計画の策定

平成22年度に引き続き計画の策定を進めた。関係機関等へ広範囲に意見照会を行いながら策定に取り組むとともに、素案に対して第三者的な立場として「あり方検討委員会」を立ち上げ、計画素案の審議を行い、「地域福祉活動推進計画」を策定。

12 調査啓発・情報提供

広報誌「てとて」4回発行
ボランティアセンター三島荘だより「たまてばこ」年1回発行
デイサービスセンター愛らんど・きたで～ 毎月1回デイ利用者世帯へ配布
かせの通信 年間1回発行
おうみかわら版 年3回近江地域全戸配布
各メディア・伊吹山テレビ・月刊デイ等での啓発



子育てサロン・おもちゃ図書館の様子

13 その他支援活動

福祉関係団体・当事者団体・高齢者・子育て等の支援

14 介護保険事業

- (1) 居宅介護支援事業 給付管理数 3,865件
- (2) 通所介護事業（デイサービス） 延べ利用者数 24,824人
- (3) 小規模多機能型居宅介護事業 延べ利用者数（通い1,902人、訪問649人、宿泊11人）
- (4) 訪問介護事業（ホームヘルプサービス） 延べ派遣時間25,027時間
- (5) 訪問入浴事業（入浴サービス） 延べサービス提供件数1,149件

15 障害者福祉事業

- (1) ホームヘルプサービス 延べ派遣時間 4,702 時間
- (2) ほおづき作業所 延べ利用者数 4,514 人
- (3) 障がい者訪問入浴 延べ利用者数 30 人

16 児童福祉事業

- (1) 学童保育事業（坂田小学校区・息長小学校区） 延べ利用者数 9,210 人

17 地域支援・介護予防事業

- (1) 日常生活圈域ニーズ調査未提出者訪問調査事業 聞き取り調査数 1,376 件
- (2) 外出支援サービス 延べ利用者数 1,243 人
- (3) 生きがいデイサービス 延べ利用者数 68 人
- (4) 生活管理指導員派遣事業 延べ利用者数 0 人
- (5) 介護者のつどい 開催回数 9 回
- (6) 障がい者社会参加促進事業
音訳ボランティア養成講座 初級編開催数 7 回 経験者編開催数 5 回
声の広報発行 延べ 34 回発行
- (7) 男性クッキング・男性料理クラブ
男性クッキング 延べ開催数 16 回 男性料理クラブ 延べ開催数 6 回
- (8) 緊急預かり事業 0 件
- (9) 地域なじみの安心事業 利用件数 3 件
- (10) 福祉機器貸出事業 貸出件数 38 件
- (11) バスの運行 延べ件数 232 件
- (12) 社会福祉大会 社会福祉に貢献された方を表彰し感謝を伝えた
- (13) その他の活動
 - 1. 日本赤十字社事務局・赤十字奉仕団支援
 - 2. 善意銀行運営
 - 3. 歳末たすけあい募金配分事業
 - 4. その他関係機関への参画



学童クラブの様子

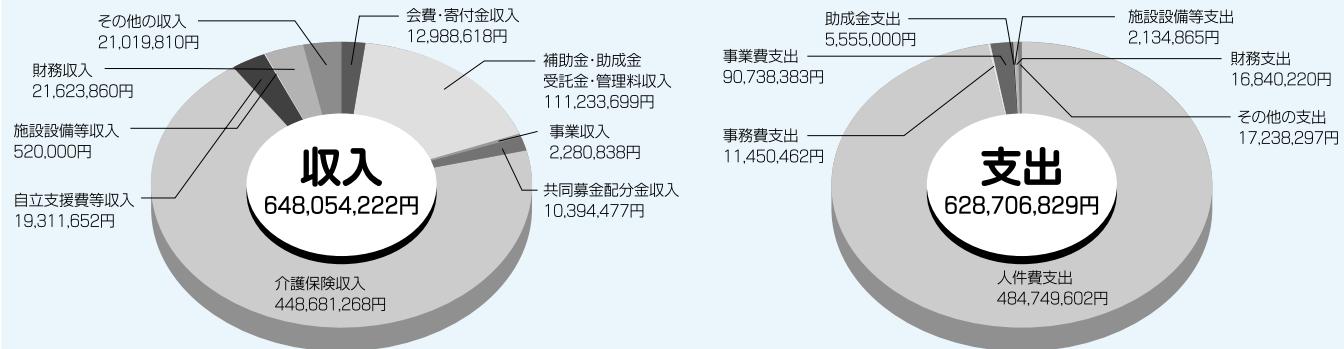


男性クッキングの様子

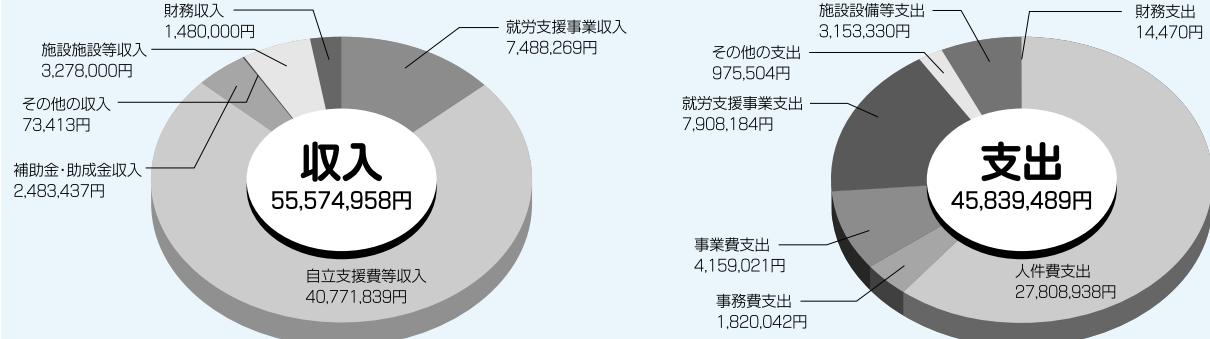
平成
23
年度

社会福祉法人米原市社会福祉協議会決算報告

一般会計資金収支計算書



就労支援事業特別会計資金収支計算書



家族介護者のつどい 開催のご案内

在宅等で介護をしておられる方を対象に、家族介護者のつどいを開催します。

日ごろ感じている介護についての思いや悩みを話し合ってみませんか？
話し合うことで気持ちが軽くなったり、介護をする方もされる方も、ともに安心して過ごせるためのヒントがみつかるかもしれません。

日 時：平成24年10月19日（金）
13:30～15:00

場 所：近江地域福祉センターやすらぎハウス内

内 容：介護に関する悩みなど、専門のスタッフがあ聞きします

対 象：米原市在住の介護をしてあられる方

参加費：200円

お申し込み締め切り：10月12日（金）

※送迎をご希望の方は、申し込みの際にご相談ください
お申し込み、お問い合わせは、社協各センターまでお願いします。

社会福祉大会

日時：平成24年11月11日（日）

会場：滋賀県立文化産業交流会館

時間：13:00～16:00

※詳しくは後日
お知らせします

今年も共同募金運動が始まります!!

皆さまの“意思ある善意”を共同募金へよろしくお願ひします。



愛ちゃんと希望くん

皆さまからいただいた募金は、このような流れで米原市内の地域福祉に役立てられています。

* 寄付額への企業と法人からの寄付金は、どちらも税金として認められ、税金控除となります。控除金は、法人税と個人税の合計です。

滋賀県内の福祉施設(広域配分金として)

- ・作業所や施設の福祉車輌や備品の購入
- ・福祉団体の情報紙の発行 などに

米原市内の福祉活動に

市内の 福祉活動 ← 番組委員会で配分先や 金額を検討 ← 募金委員会

滋賀県共同募金会

米原市共同募金委員会



募金総額 11,848,265円

広域配分金
1,960,000円

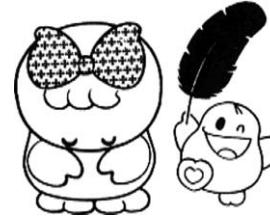
- 被災された県内の世帯へのお見舞い金
- 県内の施設への整備費助成
- 県内のボランティアグループ等への活動支援
- など

地域配分金
6,074,265円

- 各自治会のサロン活動や地域福祉への活動支援
- 福祉教育や子育て支援活動
- 福祉講座・研修会の開催
- 福祉団体活動助成

歳末配分金
3,814,000円

- 支援を必要とする市内の方への歳末お見舞い
- 市内福祉施設が行う歳末事業への支援
- など



ご協力ありがとうございました

相 談

・常時相談

社協職員が相談員として対応し、各関係機関と連絡連携し継続的に相談支援を行います。

毎週月～金曜日、午前8時30分から午後5時30分まで。

<問合せ> 米原市社会福祉協議会本部および各センター

・心配ごと総合相談

暮らしの困りごとや悩みごとの相談を受け付けます。

相談は無料。時間はいずれも10時～12時まで（相談受付は11時まで）で、相談時間は1時間程度。

相談員は、行政相談委員・人権擁護委員・民生委員児童委員（身体障がい者相談員・知的障がい者相談員が入られる日もあります）。

<問合せ> 米原市 福祉支援局（山東庁舎）TEL：55-8110

相談日	会 場	相談日	会 場
9月 4日(火)	やすらぎハウス（顔戸21-2）	10月 2日(火)	やすらぎハウス（顔戸21-2）
9月11日(火)	ルッチプラザ（長岡1050-1）	10月 9日(火)	ルッチプラザ（長岡1050-1）
9月18日(火)	ゆめホール（三吉570）	10月16日(火)	ゆめホール（三吉570）
9月25日(火)	愛らんど（春照56）	10月23日(火)	愛らんど（春照56）

・法律相談

法律に関わる相談ごとで、解決の窓口となるよう弁護士が初回の相談に応じます。事前にお申込みください。

相談日	会 場	相談日	会 場
9月13日(木)	ゆめホール（三吉570）	10月11日(木)	ルッチプラザ（長岡1050-1）

料金 1,000円 時間はいずれも10時～12時まで、1回30分以内

<問合せ・申込み> 米原市 福祉支援局（山東庁舎）
TEL：55-8110

善意銀行だより

平成24年4月1日～平成24年6月30日（敬称略）

〔金銭預託〕

匿名	50,000円
パーラー一番近江町店 お客様一同	2,603円
滋賀県立長浜農業高校生徒	731円
中嶋ゆきを	50,000円
田中正雄	20,000円
匿名	50,000円
匿名	50,000円
匿名	10,000円

〔物品預託〕

おはぎ	真野 修
おむつ他	匿名
車いすクッション	株シガドライ・ウィザース
タオル	匿名
玉ねぎ	立澤 龍也

*他 季節のお野菜や果物等をたくさんいただき、ありがとうございました。



相馬に新米を贈ろう

水源の里の同志である福島県相馬市は、今なお復興に向けた取り組みを続けておられます。

今年も相馬市の皆さんに、米原のお米を届け、実りの秋を味わっていただきたいと思いますので、市民の皆さんのご協力をお願いします。

○米の種類

- 原則として、平成24年産の新米（玄米に限る）とさせていただきます。
※平成23年産に限り、古米も受け付けます。（玄米に限る）
- 30kg単位で受け付けますので、袋（または段ボール箱）に密封した状態で、下記受付場所までお届けください。
※30kg単位でご用意いただけないときは、10kg単位でも受け付けます。

○受付期間

- 平成24年9月18日(火)～平成24年10月31日(水)



○受付場所など

■米原市役所 各庁舎

執務時間内（午前8時30分～午後5時15分）であれば、いつでも受け付けます。（土曜日、日曜日、および祝日を含む）

■米原市社会福祉協議会

各地域福祉活動センター（ゆめホール、愛らんど、やすらぎハウス）

および ボランティアセンター三島荘

月曜日から土曜日の執務時間内（午前8時30分から午後5時30分まで）

※祝日も受け付けます。



○お問い合わせ

- 米原市役所 各市民自治センター
電話 山東：55-8101、伊吹：58-2221、米原：52-6623、近江：52-6920
- 米原市社会福祉協議会
社協各センターまでお願いします。

米原市のみなさんに
役立つ子育て情報をご紹介

去る6月29日から、子育て中の悩みや喜びを仲間とわかりあえる様なサークル作りを目的に始まった「こもち～ズ広場」。今回は、そのステップアップの様子をお知らせします。



山東・伊吹地域

はじめまして

ちょっと緊張しながらの初顔合わせ



楽しいおやつ作り

大好きなもの、いっせいにせちやつた!



こもち～ズ広場



三島池へおでかけ



誕生!!
子育てサークル!

このメンバーで『あひさまスマイル』としてサークル活動していきます!!



～お詫びと訂正～

社協まいばら5月号「大きくなれ」の紙面において、愛らんどキッズの日時を毎週金曜日（第1のぞく）と表記致しましたが、正しくは第2、3、4水曜日でした。深くお詫びさせていただくとともに、訂正致します。

各種事業に関するお問合せ・お申し込み・ご意見は、
下記の法人本部・各センターまで

法人本部

米原市三吉570番地 米原地域福祉センターゆめホール内
TEL54-3105 FAX54-3115 maibarashi-shakyo@leto.eonet.ne.jp

山東伊吹地域福祉活動センター

米原市春照56番地 伊吹健康プラザ愛らんど内
TEL58-1770 FAX58-2231 m-shakyo-s.ishi@zb.ztv.ne.jp

廃材で手作り
楽器作り



くまのかすかネットだよ♪



親子で遊ぼう



わが家のアイドル



ぬま たけし
沼田 謙真くん
8ヶ月

ハイハイするのも力強くなりました♪



●皆さんからの情報をお待ちしています●

子ども写真はメールで送っていただくか、郵送でお送りください。

米原地域福祉活動センター

米原市三吉570番地 米原地域福祉センターゆめホール内
TEL54-3110 FAX54-3115 maibarashi-shakyo@leto.eonet.ne.jp

近江地域福祉活動センター

米原市頬戸21番地2 近江地域福祉センターやすらぎハウス内
TEL52-1463 FAX52-8051 m-shakyo-oshi@iris.eonet.ne.jp

ボランティアセンター三島荘

米原市池下428番地
TEL55-3933 FAX55-3933 m-shakyo-mishima@zd.ztv.ne.jp

発行：平成24年9月1日

社会福祉法人 **米原市社会福祉協議会** TEL 0749-54-3105 FAX 0749-54-3115
〒521-0023 滋賀県米原市三吉570番地 米原市米原地域福祉センターゆめホール内

◎表紙は、ティーサービスセンターきたで～です。

この広報は一部赤い羽根共同募金の配分金で発行しています。